

# 7000 (RP) シリーズの ROMmon 回復手順

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ROMmon 回復手順](#)

[詳細手順](#)

[ブートイメージおよび Trivial File Transfer Protocol \(TFTP\)サーバを使用したダウンロード](#)

[ほかのルータを用いて有効な Cisco ISO ソフトウェア イメージを PCMCIA カードに移します。](#)

[関連情報](#)

## 概要

このページでは ROMmon(rommon #> プロンプト)で動かなくなった 7000(RP) シリーズ ルータの回復方法を説明しています。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントで使用されている出力は、RPモジュールを搭載したCisco 7000ルータでテストされたものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

# ROMmon 回復手順

## 詳細手順

次に示す手順に従ってください。

1. まず最初に、devコマンドをどのデバイスがルータ上で利用可能であるかを確認してください:

```
>dev
```

```
Devices in device table:
```

```
id name
```

```
flash: internal flash
```

2. 次に、dir[device ID] コマンドを実行し、有効な Cisco IOS(R) ソフトウェア イメージを調べます。

```
>dir flash:
```

File size	Checksum	File name
4105078 bytes (0x3EA376)	0x9D5F	gs7-j-mz.111-30.CA.bin
26545 bytes (0x67B1)	0xD93F	crashinfo

```
>
```

3. Cisco IOS ソフトウェア イメージを見つけたら、i コマンドを使用してルータを起動します

```
o
```

```
>i
```

```
System Bootstrap, Version 11.1(12), SOFTWARE Copyright (c)
```

```
1986-1997 by cisco Systems
```

```
RP1 processor with 16384 Kbytes of main memory
```

```
F3: 8552+3996660+165008 at 0x1000
```

```
Self decompressing the image : #####...
```

4. ルータが起動しなければ、そのイメージは壊れています。以下に示す手順のうちいずれか 1 つを選んで、新しいイメージをダウンロードする必要があります。[ブートイメージおよび Trivial File Transfer Protocol \(TFTP\)サーバを使用したダウンロードほかのルータを用いて有効な Cisco ISO ソフトウェア イメージを PCMCIA カードに移します。](#)

## ブートイメージおよび Trivial File Transfer Protocol (TFTP)サーバを使用したダウンロード

RP がある 7000 は ROM にブート イメージがあります。このブートイメージは、他のほとんどのルータとは異なり、実際には完全なCisco IOSソフトウェアイメージです。このイメージは常に起動できるようになっているはずですが、もし起動できなければ、ハードウェアに障害がある可能性があります。

より詳しい手順については『ブート イメージを使用した ROMmon からのアップグレード方法』を参照してください。

## ほかのルータを用いて有効な Cisco ISO ソフトウェア イメージを PCMCIA カードに移します。

他の同様のルータや、互換性のあるPCMCIAフラッシュカードファイルシステムを持つルータが少なくとも1台ある場合は(『[PCMCIAファイルシステムの互換性マトリクス](#)』を参照)、そのフラッシュカードを使用してルータを回復することもできます。

- 両方のルータが同一 (同じシリーズ) ならば、他のルータのフラッシュカードを使用して、回復したいイメージをブートすることができます。これで有効なイメージを通常の方法でダウンロードできます(ソフトウェアのインストールとアップグレードの手順を参照してください)。Cisco 7000 ルータはダイナミック RAM (DRAM) から Cisco IOS ソフトウェアを実行するので、ルータが動作している間 PCMCIA カードを取り外しておくことができます。
- ルータの種類は異なっても、両方のルータに互換性のある PCMCIA フラッシュカードファイルシステムがあれば、そのルータを使って Cisco IOS ソフトウェア イメージをフラッシュカードにロードすることができます。こうしてこのイメージを回復しようとしているルータに移動することが可能になります。

## 関連情報

- [デバイス間でシステム イメージをコピーする方法](#)
- [ソフトウェアのインストールとアップグレード手順](#)
- [7000/7010販売終了のお知らせ](#)
- [Cisco 7000シリーズルータのハードウェアサポートページ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。